

## 式 辞

森羅万象に清新の気が満ちあふれている今日の佳き日に、令和3年度の大学並びに大学院の入学式を挙行できますことは、この上ない慶びであります。ただ、残念ながら、コロナウイルス感染症が、まだ高いリスクレベルにあるため、来賓や保護者の皆様のご臨席についてはご遠慮いただくことになりました。誠に、申し訳なく思っています。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

さて、学部新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんの本学への入学を心より歓迎します。本学は、皆さんの夢や希望を叶えるために、充実した施設設備の学習環境を整えるとともに、世界に名をなす素晴らしい先生方が、皆さんを温かい心で迎え、一生懸命教授させていただきます。

なお、今日の入学者の中には、18名の留学生がいますが、海外からの友人として、心から歓迎し、本学が進める国際交流の中心的な存在として、活躍してくれることを期待します。

また、厳しい選考試験に合格し、晴れて大学院に進学する76名の皆さん、進学おめでとう。学部教育の上に、更に専門的な知識や技術を極めようとしている、皆さんの志の高さに衷心より敬意を表します。学部時代の研究が更に大きく飛躍するよう願っております。

ところで、私たちの生活を一変させたコロナウイルス感染症は、未だに終息の時期を見出すことができない状況にあり、もうしばらくの間、付き合っていかなざるを得ないようであります。本学は、昨年1年間、感染リスクを回避すべく、遠隔授業と対面授業のハイブリッド型で教育を行ってきました。特に、実験・実習と演習を対面授業とし、一人ひとりの学生にしっかり向き合いながら、学習成果の向上に努めてまいりました。今年も、感染リスクが終息するまで、ハイブリッド型の授業を行っていくこととなります。

しかしながら、このような遠隔授業が、各大学において、日常的な授業スタイルの一つとして定着したことは、今後、学習のあり方を大きく進化させることになるであろうと言われています。つまり、学習者は、いつでも、どこでも、そして幾つになっても、学習を受けることが可能になったと言えます。まさに、ニューノーマルな就学の形が実現したことになります。あとは、『何を学ぶか』が重要となります。

ただ、残念ながら、過去、本学に入学した学生の多くが、当初、この『何を学ぶか』が定まっていなかったように思います。高校時代の受け身の学習と同じように、そ

の延長線上で大学のカリキュラムを履修するだけでは、自らの意思が働いているとは言えません。大学は、最高学府であり、学問の府であります。最高学府とは、最高の学問を行うところであり、未知の領域に挑戦する研究機関であります。そして、学問とは、読んで字のごとく、自ら問い、学ぶことです。すなわち、学生の皆さん自身が主体的に学問に取り組むことが求められているのです。従って、入学生の皆さんは、大学で『何を学ぶか』、自ら決めなければなりません。『受け身の学習』から『求める学習』にギアチェンジしていただきたいと思っています。それは、決して難しいことではありません。本学は、様々なプログラムやアクティビティを準備し、皆さんを一生懸命サポートさせていただきます。皆さんには瑞々しい好奇心を常にフル回転し、あらゆることにアグレッシブに挑戦してほしいと思います。多くの人たちと「わいわい、がやがや」話し合うことがとても重要であります。そのような活動の中で、『自分にとって大切なことは何か。自分は何をやりたいのか、何が好きなのか。』、自らに問うことだと思います。必ずや、ワクワクするような夢や目標が見つかるでしょう。そして、その夢や目標に向かって主体的に努力することが、他ならぬ、『求める学習』であり、『何を学ぶか』になります。この『求める学習』を続ければ、独自の才能を高めることができ、生きる喜びにつながると思います。また、充実した大学生活を送ることができるとともに、生涯にわたって挑戦し続ける力も身につけていくことでしょう。

時に、社会はものすごいスピードで変革を遂げています。そして、そのイノベーションを支えているのが、皆さんのような若き人たちであります。未来志向の柔軟な感性で、今までなかった新しい価値を創出してきたのです。これからも新時代の担い手は、若者であり、学生の皆さん自身であります。現に、アップルのスティーブ・ジョブズやグーグルのラリー・ページ、セルゲイ・ブリン、フェイスブックのマーク・ザッカーバーグなどは、学生時代に起業し、その会社を十年で世界の先端的大企業に成長させました。アメリカのシリコンバレーにはこのようなベンチャー企業がひしめいています。新しい時代を切り開くのは、間違いなく、若き皆さん達自身であります。是非、皆さんの力でイノベーションを起こしていただくよう期待したいと思います。

そこで、本学では、学生の皆さんが創出したアイデアを基に、将来会社をスタートアップできるよう『起業家育成』講座を開講しています。是非、受講してください。人生は一度きりしかありません。自分がやりたいことをしっかり見つけ、クリエイティブに実践しながら夢を掴んでください。創造性を高め、何かを新たに生み出すことは、とても楽しいことであり、遣り甲斐があります。ワクワク、ドキドキするような素晴らしい人生の第一歩を、ここ崇城大学から始めていただきたいと願っています。

最後になりますが、崇城大学の理想は、「学生の皆さんが生き活きとして、日本一、笑顔あふれる大学になる」ことでもあります。感染リスクがなくなった暁には、どうか、本学での学園生活において、自由に伸び伸びと楽しみながら、多くの友人達と切磋琢磨し、元気に、自分の個性を伸ばしていただきたいと思います。そのためにも、クラブ等の課外活動やボランティア、海外への留学研修などに積極的に取り組み、様々なアクティビティを実際に体験しながら、人の輪を広げて行って欲しいと思います。

崇城大学は、皆さんを鍛える道場であります。この道場での実践的修業を通して、皆さんが自らを磨き、大きく、大きく成長してくれることを期待し、式辞といたします。

令和三年四月五日

崇城大学 学長 中山峰男